

株式会社オリーブ

学生氏名 齋藤翔平

実習期間 平成 30 年 8 月 22 日～平成 30 年 8 月 28 日

実習プログラム

実習期間中は撮影に行く予定は無く、ウェディングムービー作成の補助をさせていただいた（ムービーで使用する写真のトリミング）。

実習期間中の 27 日には、橋本社長と直接お話をする機会を設けていただいた。質問させていただいた内容としては、

- ・映像制作という仕事と、オリーブさんという会社自体の魅力は何か？
- ・映像制作の仕事をなさっている時、どのように「やってよかった」と思えるか、反対に「これはきつい」と思うものは何か？
- ・オリーブさんのお仕事は、業界的には何にあてはまるのか？
- ・人脈はどのような機会に増やしているのか？
- ・ウェディングムービーを制作する時のお客様とのやりとりの仕組み

また、質問にご回答していただいただけでなく、今後の進路を考える上でのアドバイスもしていただいた。

学び・気づき

今回、実習させていただいた中で気づけたのは、基本的でありながら仕事をする上で大切な、「集中して仕事をこなす」・「ON と OFF の切り替え」・「楽しんでやること」という 3 つのポイントの重要性だ。今回は写真のトリミング作業を手伝わせていただいたのだが、社員の方々はデスクに向かい、集中して動画作成を行っていた。それでいて決して堅苦しい雰囲気ではなく、休憩の時間になれば一気にリラックスモードとなり、仲睦まじく談笑なさっているのが印象的だった。



橋本社長とお話をさせていただいた中で、会社のルールとして、「悪口を言わないこと」「会社と人生の先輩を敬う事」というものがあるそうだ。このようなルールと、社長ご自身の明

るい人柄が、会社の良い雰囲気に繋がっているのだと思う。また、進路について「好きな事をやると良いよ。」と、橋本社長からアドバイスもいただいた。あれこれ複雑に考えがちな自分にとって、気持ちを軽くして下さるありがたいものだった。

「やる時はやる、休む時は休む」という「ONとOFFの切り替え」をはっきりとし、そして「仕事をこなす」という事の重要性をインターンを通して再確認した。また、仕事においても人生においても、「楽しむ」というワードが大切なポイントであるという事に気づけた事も、大きな収穫であった。

今後に向けた抱負

インターンシップでの仕事を通し、3つのポイントの重要性に気づけた。その中でも特に今の自分に必要だと思ったのは、「楽しんでやる」という事。なぜなら、私は物事をマイナスの方向に深く考えすぎてしまう。正直なところ、「楽しむ、ポジティブに、些細な事は気にせず」という考えをするのは出来ない。だが今回、橋本社長とお話させていただいた事、そして社長や社員の方々のエネルギーさや明るい雰囲気に触れた事で、「楽しむ」という事が今の自分にとって必要な事であると思った。生きていく以上、楽しんだ方が絶対に得だからだ。いきなり完璧なポジティブに変わっていくのは無理だが、少しずつでも悪く考えがちな部分を改善し、これから何をするにしても楽しんでいけたらと思う。

インターンシップをして気づいた、実習先の魅力

「学び・気づき」の部分で述べたように、仕事を集中してこなしつつも、切り替えが明確なので決して雰囲気は堅すぎないという点、そして会社のルールが、オリーブさんの魅力である。動画作成という業務なので、地道な作業ではあるのだが、お客様の為に集中して仕事をこなす社員の方々の姿勢は素晴らしかった。昼の休憩時にはたわいも無い話で盛り上がり、そうした業務外の交流もあって、インターンを気持ち良く受ける事が出来たのだと思う。学生の私を快く迎えて下さる優しい方ばかりだった。また、明確でありながらも極端に社員の方々を縛らないルールと、それを作った社長ご自身の明るい人柄が、会社の良い雰囲気に繋がっていると思った。

オリーブさんは、仕事をする上で基本的でありながら、大切なポイントを良い環境で学ぶ事の出来る企業だ。